

今年も夏祭りに変わって、音楽祭を開催しました。入院患者様を対象に外部から演者の方に来て頂き、楽器や太鼓の演奏を披露してもらいました。太鼓の迫力ある演奏や、二胡の澄んだ音色、素敵な歌声に患者様も魅了されていました。また今回新たな取り組みとして、外来患者様やご家族様、地域の方を対象に院内に2台のキッチンカーに来て頂き、軽食やスイーツを販売してもらいました。話題の食べ物や、夏の縁日を連想させるような食べ物が販売されており、非日常を感じられたのではないのでしょうか。



● 24時間テレビに賛同

今年も24時間テレビの募金活動に参加させていただきました。集まった募金で少しでも福祉支援、環境支援、災害復興支援の力になればと思っています。



【編集後記】

今年の夏も猛烈な暑さでしたが、その中で3年ぶりにフランスのパリでオリンピックが開催されました。今回のオリンピックでも色々な感動的な場面が生まれましたが、その中でも香川県出身の日下尚選手(レスリング)が金メダルを獲得されました。地元の選手が世界で活躍される姿をみるととても嬉しいですね!

さて、ようやく秋らしくなってきましたが、秋といえば、〇〇の秋。何をしてもいい季節ですね。読書の秋「脳のストレスを減らす」、スポーツの秋「身体を動かす」、食欲の秋「しっかり食べる」の3つをできる範囲で実践し、健康に過ごしましょう。



永生病院 130床(一般病棟 40床・介護医療院 90床)

医療法人 圭良会

- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 香川県仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
- 森内科 香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護) Tel 0877-73-0811
- サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護) Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第77号

発行元：医療法人 圭良会 永生病院

編集者：接遇向上・広報委員会

住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3

TEL:0877-73-3300

FAX:0877-73-3202

永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>

発行年月日:令和6年10月15日

ゆるめき

【理事長・院長のあいさつ】
2024年トリプル改定
病院機能評価 5回目認定

【健康ひろば】
「放射線被爆について」

【部署紹介】
臨床検査科

【行事報告&お知らせ】
ふれあい看護体験
永生病院 夏の音楽祭
24時間テレビに賛同

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



KEIRYOKAI

● 理事長・院長のあいさつ

2024年トリプル改定

今年には6年に1度の医療・介護・障害福祉サービス同時改定のトリプル改定の年となりました。通常、診療報酬は2年に1度改定が行われ、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬は3年に1度改定が行われることから、今回は6年に1度のめぐりあわせとなりました。そして医療、介護、障害について同時に種々検討を行いつつ改訂がなされ、制度間の調整、各提供体制の整備が進められました。

診療報酬改定は従来、2月初旬に答申、3月初旬に告示、4月施行、5月初回請求とされてきましたが、改定期間は短く、電子カルテをはじめ種々の改定作業が逼迫し、多大な負担となるため、今回から薬価改定は4月1日施行、薬価改定以外の改定事項は6月1日施行となりました。

主な改定の内容としては、誤嚥性肺炎、尿路感染症などで増加する高齢者救急とより高度な医療を必要とする救急患者との問題で、地域における救急医療の役割を明確化することが検討されました。外来医療では、かかりつけ医機能やオンライン診療の適切な推進が検討課題となりました。医療DXについては、医療DX推進本部でまとめられた「医療DXの推進に関する工程表」に沿ってすすめていく予定です。

診療報酬と介護報酬との連携・調整をより一層すすめる意見交換会が行われ、リハビリテーション・口腔・栄養の一体的サービスの推進、高齢者施設・障害者施設における医療機関との連携、人生の最終段階における医療・介護サービス等について、より質の高い医療・介護の実現に向けて検討が行われました。単なる医療と介護の連携ではなく、かかわる各職種が相互のコミュニケーションをより深められる情報提供の仕組みが必要となります。ここにおいてもより効率的に情報連携を実施するための「医療DXの推進」が求められます。

医師並びに医療従事者の働き方改革の推進については継続して議論がなされており、「デジタルツールを活用した業務効率化」と「タスクシフト」などをとり入れた充実したやりがいのある職場環境の提供が求められています。

2025年は「地域医療構想」の最終年となっており、高齢者医療の増加、人口減少の社会状況において、地域の医療機関には求められるものがさらに多くなってまいります。より質の高い医療・介護サービスを提供し、患者さまにより生きがいのある生活を送っていただけるよう努力してまいります。



理事長 森 伊津子

病院機能評価 5回目認定



2024年5月に受審しました病院機能評価の結果、無事認定されましたので報告させていただきます。病院機能評価とは、病院運営や医療の質を第三者に評価してもらうもので、一定の水準を満たせば「認定病院」となります。認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく日常的に努力している病院として評価を受けたこととなります。

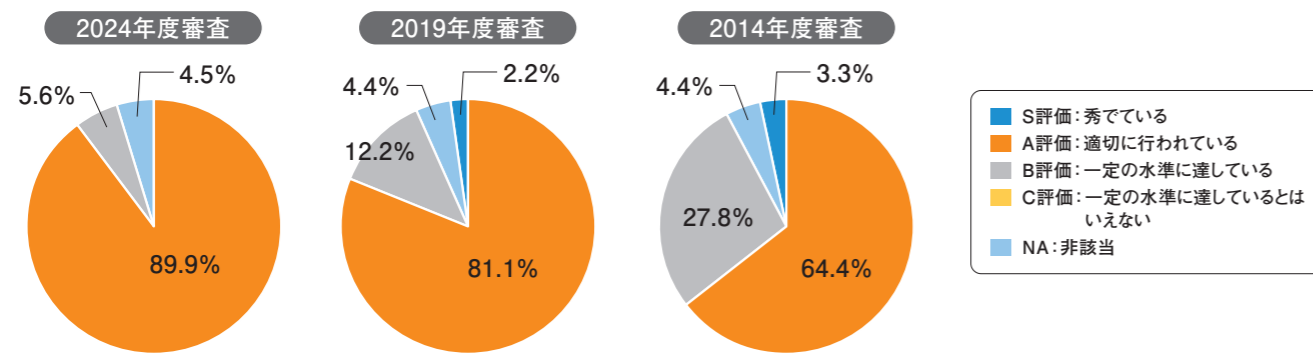
審査は、病院の基本姿勢、良質な医療提供や組織運営など、大まかに4つの領域に分かれており、全部で約100の項目について評価されます。それぞれ下の表にあるように、一定の水準に達して

いないC判定から、秀でているS判定までの4段階で評価されます。喜ばしいことに、以前の結果と比較するとA判定が9割に増えており、サーベイヤーからも「機能向上への努力や組織活動の充実など優れた取り組みが見受けられた」と評価をいただきました。一方で、S判定がなくなったこと、新たな課題の指摘など次の審査への宿題もいただきました。今回の結果を踏まえて、新しい取り組みや課題に挑戦していこうと思います。



院長 大島 弘世

病院機能評価の評価判定結果



体の安心情報板 健康ひろば 第55回 テーマ 「放射線被曝について」

みなさんは体調を崩したり、怪我をして病院を受診した際に、CTやレントゲン(Xp)といった画像検査の経験がありますか?画像検査は身体の異常を発見する手段として、とても有用です。しかし、画像検査には放射線被曝というリスクが伴います。今回はその放射線被曝について簡単に説明します。まず放射線量の単位についてですが、放射線防護に用いる線量である実効線量(mSv)を用いて説明します。

実は画像検査を受けていなくても、日々の生活で放射線を身体に受けています。その放射線量が1年間で約2.1mSvとされています。画像検査では、検査1回あたり胸部Xp検査で0.1mSv、CT検査で約10mSv(撮像範囲による)です。

次にどのくらい放射線を受けると、身体にどんな影響が出るかについてです。放射線被曝で最も問題となるのが発癌で、被曝線量が短期間で100mSvを越えると、発癌による死亡確率が0.5%上がると言われて

います。そして放射線量の増加に比例して、その確率も上昇します。発癌リスクが高くなると言われると、画像検査にとっても怖いイメージを持たれるかもしれませんが、短期間にたくさんの放射線を受けることが問題であって、CTやXpを年に数回行う程度では大きな問題はありません。もちろんリスクが全くないわけではなく、医師が画像検査の必要度とリスクを考えた上でを行っています。

とにかく、体の不調を感じた際には病院を受診してみてください。画像検査で異常を早期発見できるかもしれません。早期発見、早期治療で健康寿命を延ばしましょう。



内科・放射線科医師 山本 倫太郎

部署紹介

【臨床検査科】

私たち臨床検査科は、臨床検査技師4名体制で技師一人一人が幅広く業務を行っており、迅速かつ質の高い臨床検査データを提供しています。

検体検査・生理検査の大きく2つの検査を行っております。

検体検査…患者様の血液や尿、便などを用いて行う検査

血算(赤血球・白血球など)、血液凝固検査、生化学検査(肝機能や腎機能など)、免疫検査、輸血検査、細菌検査

生理検査…患者様の身体に直接検査機器を装着、または接触して行う検査

超音波検査、心電図、ホルター心電図、血圧脈波検査、肺機能検査

臨床検査の品質については「香川県臨床検査技師会」「日本医師会」「日本臨床検査技師会」が主催する外部精度管理調査に参加し、毎年良好な成績を修めています。

また、臨床検査科では病院全体のチーム医療の一員として、感染制御チーム(ICT)や、栄養ケア管理委員会、褥瘡対策委員会などに参加し、検査の面から患者様や医師、看護師等の支援を行っています。



● ふれあい看護体験

令和6年7月30日(火)

今回のふれあい看護体験では、医療職に興味があり、色々なことを学びたいという高校生2名の参加がありました。院内見学のあと、デイサービスで利用者さまと一緒に体操をしたり、リハビリ室で松葉杖を実際使ってみたりと、他部署の職員の協力も得ながら様々な体験をしていただきました。多職種が協働し、チーム医療で患者さんのケアを行っている場面や、患者さんの安全を守るための取り組みを知ってもらうことで、看護職に興味を持ってもらう良い機会になったと思います。

看護部

